

狭間

類似と差異とそのあいだ

この度は、ベルリン日独センターにおいて視覚芸術祭「狭間」を開催させていただきます。このイベントは、官民協働の留学支援制度である「トビタテ！留学 JAPAN」新・日本代表プログラム 15 期の日本人留学生が中心となり企画されています。当団体は、これまでも食文化交流イベントと学生映画上映会をデンマークとパリで行ってきました。今回は、長期にわたる留學生活の締めくくりとして、国籍を超えたアーティスト 25 組による、映画、パフォーマンス、写真、絵画、インスタレーションと様々なメディアを用いた作品の展示を行います。また、期間中には鑑賞者と参加アーティストによるディスカッション、ゲストを招いてのトークショーを行います。これらを通じて、単なる作品の展示に留まらない、鑑賞者とアーティストが密に交流し合うクロスカルチュラルな場を提供します。異なる文化や言語が混じり合うところに生まれる「狭間」を、ぜひご高覧ください。

この 3 日間の視覚芸術祭では「狭間」をテーマに、様々な文化的な背景が交錯する、アートを通じた相互交流の場を目指します。展示するのは日本もしくはドイツにおいて、言語や文化の狭間で活動しているアーティストの作品です。狭間という言葉がもつ、類似と差異の入り混じる限定された不安定な空間を、物理的な意味合いをこえて抽象的な文脈で俎上にあげます。狭間で生きることの困難さと希望に焦点を当てて、年齢や言語、国籍、文化、メディア形態、職業の枠組みをこえた、互いに働きかける刺激的な芸術祭です。

また、この芸術祭では多様なアート表現を提示するメディア横断的な空間を作りだします。映画や 16 ミリ・フィルムの上映から、パフォーマンスの上演、写真、絵画、立体作品、ビデオ・インスタレーションの展示など、異なる形式の作品が一堂に展示されることで、境目の線を滲ませると淡く入り交じるように、各作品が個別の意味合いを越えて、互いに干渉しあいます。回廊では写真や絵画が飾られ、中庭へと続くガラス窓ではインスタレーションが展示され、ガラスの向こうの中庭ではパフォーマンスが行われます。大ホールでは劇映画やパフォーマンス映画、ドキュメンタリー映画の上映、セミナールームでは 16 ミリ・フィルムのアナログ上映が行われます。また、トークショーやディスカッションを通じてアーティストと観客の双方向的な刺激となる機会を提供します。

日程:

2024年5月24日から26日の3日間

24日17時から20時 オープニング・セレモニー

25日11時から20時

26日11時から18時

概要:

映画上映/16ミリ・フィルム上映/写真・絵画の展示/インスタレーション

パフォーマンス/トークショー

日本カフェ

アーティストの詳細：https://www.instagram.com/cinefile_/

チ ケ ッ ト :

https://cinefile.studio.site/berlin?utm_source=website&utm_medium=jbzd&utm_campaign=berlin_general

運営:

Ciné File

映画上映や文化交流会を開催する非営利団体です。主に文部科学省主導の「トビタテ！留学 JAPAN 新日本代表プログラム」の奨学生としてヨーロッパに留学している日本人留学生が中心となって運営しています。